

令和2・3年度（第27期）

座間市青少年指導員活動のあゆみ

座間市青少年指導員協議会

目 次

青 少 年 と 共 に (座間市青少年指導員協議会々長)	1
青少年指導員活動のあゆみによせて (座間市長)	2
座 間 市 の 概 要	3
児 童 生 徒 数 の 推 移	4
青 少 年 指 導 員 の あ ゆ み	5
青 少 年 指 導 員 の 役 割	6
令 和 2 年 度 事 業 報 告	7
令 和 3 年 度 事 業 報 告	11

各地区協議会活動報告

座 間 中 学 校 区	17
西 中 学 校 区	20
東 中 学 校 区	25
栗 原 中 学 校 区	28
相 模 中 学 校 区	31
南 中 学 校 区	34

全 体 活 動 報 告

ふるさとまつり	38
座間市成人式	38
青少年芸術祭	39
専門部活動	40

参 考 資 料

令和2・3年度座間市青少年指導員名簿	44
神奈川県青少年指導員委嘱要領	45
座間市青少年指導員に関する要綱	46
座間市青少年指導員協議会規約	47
座間市青少年指導員協議会組織図	49
県・県央地域青少年指導員連絡協議会体系図	50
教育・文化・スポーツ施設一覧	51
あ と が き	53

青少年と共に



座間市青少年指導員協議会
会長 萩原 正恵

第27期青少年指導活動も終わろうとしています。

任期の終わりに感じることは全指導員のリーダーになれたのだろうか自問自答しますが、前年度とは違ったことがこの二年間押し寄せてきました。

世界的なコロナウイルスという目には見えない感染症が蔓延してきました。最初は重く考えていませんでしたが毎月のニュースの中でただならぬ事だと感じてきました。

私達の活動にも自粛が押し寄せてきました。今まで普通に行っていた会議が書面会議、オンライン会議に変わり戸惑いも感じていたのは事実です。皆さんの顔を見ての会議が楽しみでもありましたが残念で一抹の寂しさもありました。

自粛の中でも成人式は二部制に分けて出来ました。参加した私達も久し振りに着飾った成人者に会えて心から和みました。

また、青少年芸術祭美術展は、絵画、写真のみと縮小しながらも子ども達の作品を展示することができ、多くの来場者に喜んで頂きました。

音楽部門も関係者の御協力のおかげで開催でき、高校生、中学生の素晴らしい演奏に感動をいっぱい頂きました。

次年度は人形劇部門、舞踊部門の出来る事を願います。

指導員でも野外部・文化部の合同研修をする事が出来ました。「もう一度座間の歴史を知ろう」と芹沢公園内にある栗原水源及び地下壕の見学を計画致しました。私達の飲んでいる水のしくみを再確認しました。地下壕は入豪時の安全面の観点から中止となりパネルでの説明でしたが歴史を感じさせるお話でした。雨の中での研修でしたが久し振りに出来た活動に両部長はもちろん皆んなの顔も満足でいっぱいだったと思います。

青少年フェスティバルも2校が実施しました。子ども達の楽しそうな顔を見るとやはりうれしいです。制約の中十分な配慮をすれば大丈夫だということを実感しました。

次年度はすべての行事が自由に出来る事を願い、子ども達をいっぱいの笑顔にしてあげるのが青少年指導員です。頑張りましょう。

最後に2年間に渡り御支援と御指導を賜りました座間市及び教育委員会、交流させて頂いた全ての方々に厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

「座間市青少年指導員活動のあゆみ」によせて



座間市長 佐藤 弥斗

第27期の青少年指導員皆様の2年間の御活動に対し、感謝とお礼を申し上げます。

また、皆様方には青少年に対し、多様な体験活動、地域間交流、各青少年団体の育成及び支援、地域環境健全化、青少年健全育成団体間の交流促進など、多岐に渡り御活躍頂きましたことを心より厚くお礼申し上げます。

さて、近年では、急速な情報化社会の進展等により、スマートフォンやタブレットといった機器の進歩によって、生活は大変便利になりました。

しかし、その一方で、青少年を取り巻く環境は著しく変化しており、ネットトラブルなど、青少年が巻き込まれる事件が増えてきていることも事実です。人と人との関わりが減り、顔の見えない相手と文字でやり取りすることが、今や当たり前の時代となってしまいました。また、多すぎる情報は、時に人の判断を狂わせてしまうこともあるでしょう。インターネット等で得た情報だけではなく、自分の足で赴き、自分の眼で見て、耳で聞いて、何かを感じ、自ら判断する力を養うことが青少年にとって大切なことなのではないでしょうか。

こうした中で、座間市青少年指導員の皆様には、青少年が笑顔溢れるようにと積極的に子どもたちとふれあって頂きました。

今後においても、様々な活動を通じて、人と「ふれあうこと」の大切さを伝えて頂き、次代を担う子どもたちにとって、明るい社会を構築する一助となって頂けたら幸いに存じます。

萩原会長をはじめ会員の皆様に、心より感謝の意を表し、厚くお礼申し上げますとともに、座間市青少年指導員協議会の更なる御活躍・御発展を祈念申し上げます。

座間市の概要

1. 沿革

本市は、1万数千年前から人々が居住していたと言われています。

奈良時代には、旧東海道の駅名として「相模国夷参駅」の記録があり、平安時代に入ると、倭名類聚鈔の高座郡の郷名に「伊参」の記録があります。

その後、戦国時代には、小田原北条氏の所領となり、江戸時代には幕府直轄や大名領となりました。

明治時代に入ると、廃藩置県により神奈川県に属し、明治6年には、座間宿村、座間入谷村、栗原村、新田宿村、四ッ谷村の5村となり、明治22年町村制実施により5村と新戸村（現相模原市）飛地を合併して「座間村」を形成しました。その頃は、米麦、養蚕を中心とした農村社会でした。

大正15年神中線（現相模鉄道）、昭和2年小田急小田原線、昭和6年相模鉄道（現JR相模線）が開通しました。昭和12年、東京から陸軍士官学校が移転、同年12月町制を施行し、座間村から座間町となりました。

昭和16年、旧高座郡北部5カ町村と合併して軍都相模原町を形成しました。昭和20年、終戦と同時に陸軍士官学校は閉鎖され、引き続き米軍が駐留し、現在のキャンプ座間となりました。昭和23年9月、相模原町から独立し、新生座間町として出発しました。

その後、昭和30年工場誘致による民間企業の進出や人口急増など、高度経済成長とともに都市化が進み、昭和44年には人口5万人に達し、昭和46年11月、県下17番目の市として市制を施行しました。以来、首都圏のベッドタウンとして成長し、現在では、工業や住宅などの複合都市となっています。

2. 地勢

本市は、東京から南西へ40Kmで、神奈川県の中核部に位置しています。市域面積は、17.57Km²、中央部を南北に縦断する座間丘陵を境として東部には相模台地、西部には相模川に沿って沖積低地が広がり、起伏に富んだ地勢を構成しています。

(位置：東経 139° 24' 38" 北緯 35° 29' 07")



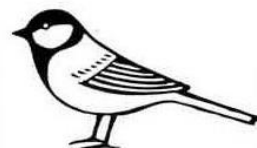
市のシンボルマーク



市の花
《ヒマワリ》



市の木
《モクセイ》



市の鳥
《シジュウカラ》

児童生徒数の推移

1. 児童生徒数の推移（各年5月1日現在 学校教育課調べ）

(1) 小学校

年 度	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
児 童 数	7,298	7,218	7,016	6,890	6,716	6,577	6,440	6,373
教 員 数	319	318	332	328	317	318	324	329
学 校 数	11	11	11	11	11	11	11	11
学 級 数	238	239	241	241	236	234	237	236

年 度	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和 2	令和 3
児 童 数	6,376	6,386	6,330	6,365	6,323	6,285	6,229	6,152
教 員 数	338	337	341	345	341	357	355	347
学 校 数	11	11	11	11	11	11	11	11
学 級 数	209	239	238	242	239	242	237	232

(2) 中学校

年 度	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
生 徒 数	3,371	3,386	3,437	3,384	3,413	3,365	3,409	3,335
教 員 数	188	190	191	192	196	198	203	202
学 校 数	6	6	6	6	6	6	6	6
学 級 数	100	102	103	104	108	105	106	104

年 度	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和 2	令和 3
生 徒 数	3,207	3,099	3,057	3,072	3,040	3,033	3,024	3,071
教 員 数	196	192	193	193	187	190	193	196
学 校 数	6	6	6	6	6	6	6	6
学 級 数	100	97	99	98	98	98	99	102

青少年指導員のあゆみ

青少年指導員は、地域社会の青少年の健全育成活動を積極的に推進するため、地域の青少年指導者と連携をとりながら、地域ぐるみで青少年を育成する実践的活動をすすめていく、推進役という趣旨で制度化されました。こうした青少年指導者制度は、次のような過程をたどって発展しました。

昭和21年、戦後の社会秩序の混乱は、道徳を退廃させ、青少年の不良化が激増。文部省（現文部科学省）はこうした事態を対処する教育的処置として「児童愛護班活動要綱」を都道府県に通達。昭和22年、文部省の要綱設定の趣旨に基づき、神奈川県でも「児童愛護班」を結成し、公園、街頭などで児童対象の小集会を開き、レクリエーション指導など巡回活動を実施しました。

昭和24年、各地に「子ども会」結成の気運が高まってきました。昭和25年、「神奈川県校外生活指導者制度」が設置されるにおよび、「児童愛護班」は発展的に解消することになりました。

昭和31年、「校外生活指導者」の活躍により、単位子ども会数が1,000団体となり、さらに昭和35年には、約2,500団体にまで発展しました。

昭和36年、社会教育の重要性と独自性が強調され、単なる学校教育の補足的活動から脱皮して、地域におけるボランティア活動の推進力としての「地区少年指導員」が設置されました。活動内容も、地域の少年の健全育成活動、非行防止活動、環境浄化活動など広範囲に行われるようになりました。

昭和43年、従来の青少年指導に勤労青年の指導を加えることとし「地区少年指導員制度」を改正し、名称を現在の「青少年指導員」としました。この年に第1回神奈川県青少年指導員大会が開催されました。

なお、座間市でもこの年「座間町青少年指導員制度」が発足し、当時の町長から委嘱された青少年指導員は29人でした。

昭和45年、青少年指導員相互の緊密な連帯を図るため「神奈川県青少年指導員連絡協議会」が結成されました。

「青少年指導員制度」が発足して52年になります。社会の変動に伴い青少年指導員に対する社会的欲求や期待もおのずから変化している現在、青少年指導員に対して、青少年の健全育成のための地域づくりをはじめ、地域の青少年のニーズに対して機敏に反応し活動する事が求められています。

青少年指導員の役割

1. 青少年の体験活動の推進
 - 自然、文化、スポーツ、レクリエーションなど多様な体験活動の促進
 - ボランティア活動の促進
 - 就労体験（職場体験活動）
 - 子ども会議、討論会など、青少年の意見表明の機会づくり
 - 異年齢交流、地域間交流、国際交流の促進

2. 青少年団体の育成と支援
 - 成人指導者、育成者の発掘と養成
 - 青少年（中・高校生）リーダーの発掘と養成
 - 青少年団体の育成と組織づくりの支援
 - 青少年団体への協力・支援
 - 青少年関係団体間の連絡と協調

3. 青少年育成に望ましい地域づくり
 - 地域の共通課題について、話し合い、学び合う機会の拡充
 - 家庭・学校・地域の開かれた関係づくりと連携の強化
 - 地域の魅力の再発見と活用
 - あいさつ・声かけ運動などの促進
 - パトロール、キャンペーンなど地域環境健全化の推進
 - 関係機関、関係団体、関係業界への要請

4. 青少年に関する相談と対応
 - 会話、対話を通じた青少年との関係づくり
 - 青少年育成に関する相談と地域活動情報の提供
 - 青少年の悩み、心配事相談と専門機関の紹介
 - 関係機関、関係団体との連携強化

5. 青少年に関する調査と情報提供
 - 青少年の意識・行動実態の調査
 - 青少年を取り巻く社会環境の調査
 - 青少年が活用できる地域資源の調査
 - 青少年に関する情報の収集、整理、提供

令和2年度 事業報告

青少年指導員協議会では、令和2年度の活動方針を次の5項目としました。

- (1) 青少年の健全育成を図る
- (2) 青少年指導員の資質の向上を図る
- (3) 地区協議会活動を充実させる
- (4) 青少年の文化、レクリエーション活動の支援及び推進
- (5) 青少年指導員活動の地域へのPRに努める

以上5項目を柱として、青少年指導員協議会としての全体活動、地区協議会活動、専門部活動を実施しました。また、座間市からの受託事業「青少年フェスティバル」「青少年芸術祭」にも協力し、地域の健全育成に努めました。

1 会議・活動報告

(1) 全体会・役員会議等

期 日	会 議 名	内 容	会 場
6月10日	三役・ 専門部長会	青少年課職員体制、前期退任委員及び今期新任委員、活動方針、活動計画案、予算案、青少年芸術祭、青少年フェスティバル、6月役員会等について	青少年センター
6月10日	役員会	青少年課職員体制、前期退任委員及び今期新任委員、活動方針、活動計画案、予算案、地区活動報告、青少年芸術祭、青少年フェスティバル等について	青少年センター
7月	役員会 (書面)	県青少年指導員表彰候補者、三部会事業、活動報告、活動予定、ふるさとまつり等について	/
7月24日	三役会	青少年指導員活動(青少年芸術祭・ふるさとまつり)について	青少年センター
9月 2日	三役会	青少年美術展、ふるさとまつり、青少年フェスティバル、9月役員会等について	青少年センター
9月 2日	役員会	青少年美術展、ふるさとまつり、青少年フェスティバル、活動報告、活動予定等について	青少年センター
10月 7日	三役会	青少年美術展、10月役員会等について	青少年センター
10月 7日	役員会	青少年美術展、活動報告、活動予定等について	青少年センター
11月 4日	三役会	成人式応援、県青少年指導員表彰、11月役員会等について	青少年センター
11月 4日	役員会	成人式応援、県青少年指導員表彰、青少年美術展、活動報告、活動予定等について	青少年センター

1月	役員会 (書面)	県育成活動推進者表彰、青少年美術展、成人式中 止、活動報告、活動予定等について	
3月 3日	三役会	全体会、3月役員会等について	青少年センター
3月 3日	役員会	全体会、活動報告、活動予定等について	青少年センター
3月24日	全体会	事業報告及び決算報告等について	青少年センター

(2) 専門部活動報告

① 野外活動部

② 文化活動部

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を自粛しました。

③ 「きずな」編集部

期 日	内 容	会 場
7月 9日	青少年指導員広報誌「きずな」第60号第1回編集会議	青少年センター
9月10日	青少年指導員広報誌「きずな」第60号第2回編集会議	青少年センター
10月 1日	青少年指導員広報誌「きずな」第60号発刊	
12月 3日	青少年指導員広報誌「きずな」第61号第1回編集会議	青少年センター
2月16日	青少年指導員広報誌「きずな」第61号第2回編集会議	青少年センター
2月24日	「きずな」第61号(3月1日発刊)仕分け・配布作業	青少年センター
3月 1日	青少年指導員広報誌「きずな」第61号発刊	

(3) 対外関係

期 日	内 容	会 場
6月	県央地域青少年指導員第1回連絡協議会(書面)	
6月	市社会を明るくする運動推進委員会議(書面)	
6月	市安全安心まちづくり推進協議会総会(書面)	
7月	座間防犯協会総会(書面)	
7月	市青少年相談室連絡協議会議(書面)	
7月	市青少年問題協議会議及び委嘱式(書面)	

7月	県青少年指導員連絡協議会第1回理事会議(書面)	
8月	県青少年指導員連絡協議会第1回委員総会(書面)	
8月11日	県央地域青少年指導員連絡協議会事前打ち合わせ	海老名商業施設
9月	第1回県央地域青少年社会環境健全化推進連絡会議(書面)	
9月 4日	県央地域青少年指導員第2回連絡協議会議	厚木合同庁舎
9月 8日	市青少年健全育成大会起草委員会会議	青少年センター
9月25日	市中学生の主張作文コンクール第1回審査会	青少年センター
10月7日	市中学生の主張作文コンクール第2回審査会	青少年センター
10月9日	市安全・安心まちづくり旬間 推進激励式	座間市役所
10月11日～ 20日	市安全・安心まちづくり旬間 防犯啓発活動	コミュニティセンター等
10月15日	市青少年善行ほう賞審査会	青少年センター
10月23日	県青少年指導員連絡協議会第2回理事会	かながわ県民センター
11月23日	市青少年健全育成大会	ハーモニーホール座間
3月	県犯罪のない安全安心まちづくり推進協議会第1回理事会(書面)	

2 市からの受託事業

(1) 第32回青少年フェスティバル

期日	件名	内 容	参加人数
6月22日	会議(書面)	第32回座間市青少年フェスティバル実行委員会結成会議	19
中止	全中学校区	各中学校区において関係者協議をした結果、新型コロナウイルス感染症の影響により青少年フェスティバルの中止が決定しました。	

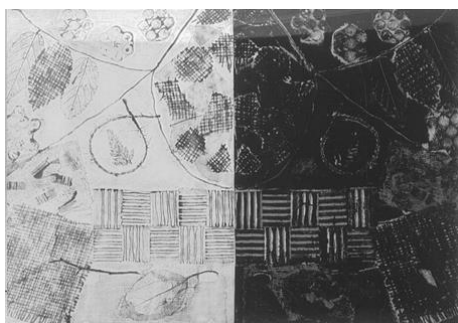


(2) 第41回青少年芸術祭「青少年美術展」

期 日	件 名	内 容
7月14日	市青少年芸術祭実行委員会結成会議(書面)	規約・予算・役員選出等について
10月 7日	展示部門会議	全体構想・作業日程等について
12月上旬	作品出品依頼	市内各校へ募集要項等の配布
1月8日～ 22日	作品回収	各校から作品回収
1月21日	作品整理・審査事前打ち合わせ(三役)	作品整理及び審査のながれを確認
2月 1日	作品整理・審査	作品整理・奨励賞選出・受賞作品の写真撮影
2月17日	全作品写真撮影	出品作品を市HPに掲載するため、全作品の撮影作業を実施
3月13日～ 31日	全作品を市HPに掲載	※ 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言期間中のため、会場での作品展示は中止とし、出品された作品を市HPに掲載することとした。
3月21日	受賞式典	特別賞(市長賞・議長賞・教育長賞・審査員特別賞)の受賞式

出品作品総数 366点・出品者数 397人・受賞作品 8点

市長賞



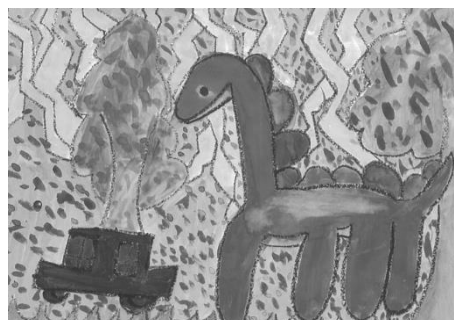
議長賞



審査員特別賞



教育長賞



令和3年度 事業報告

令和3年度の活動方針は、令和2年度の活動方針を基本とし、さらに活動の充実を図ることとしました。

1 会議、活動報告

(1) 全体会・役員会議等

実施日	会議名	内 容	場所等
4月 7日	三役会	青少年課職員体制、活動計画案、事業計画案、予算案、専門部活動について	青少年センター
5月12日	三役会	5月役員会について	青少年センター
5月12日	役員会	青少年課職員体制、活動方針、活動計画案、事業計画案、予算案、三部会事業計画、地区活動報告、青少年芸術祭、青少年フェスティバル等について	青少年センター
6月 2日	三役会	野外部・文化部合同専門部会、6月役員会(書面開催)について	青少年センター
6月	役員会 (書面)	野外部・文化部合同専門部会協議結果、活動報告、活動予定について	/
7月 7日	三役会	県青少年指導員表彰候補者の選出、7月役員会について	青少年センター
7月 7日	役員会	活動実績報告(青少年フェスティバル実行委員会結成会議(書面開催)、きずな編集部会、青少年芸術祭実行委員会結成会議)、野外部・文化部合同研修、活動報告、活動予定について	青少年センター
9月	役員会 (書面)	座間市青少年芸術祭展示部門会議開催、野外部・文化部合同研修会、市民ふるさとまつり、青少年フェスティバル、活動報告、活動予定について	/
10月 6日	三役会	青少年芸術祭展示部門会議、10月役員会について	青少年センター
10月 6日	役員会	野外部・文化部合同研修会、県央地域青少年指導員活動研修会、第2回きずな部会の開催、市青少年健全育成大会、安全・安心まちづくり旬間、活動報告、活動予定について	青少年センター
11月10日	三役会	11月役員会について	青少年センター
11月10日	役員会	市青少年健全育成大会、成人式応援、活動報告、活動予定について	青少年センター
1月12日	三役会	1月役員会について	青少年センター

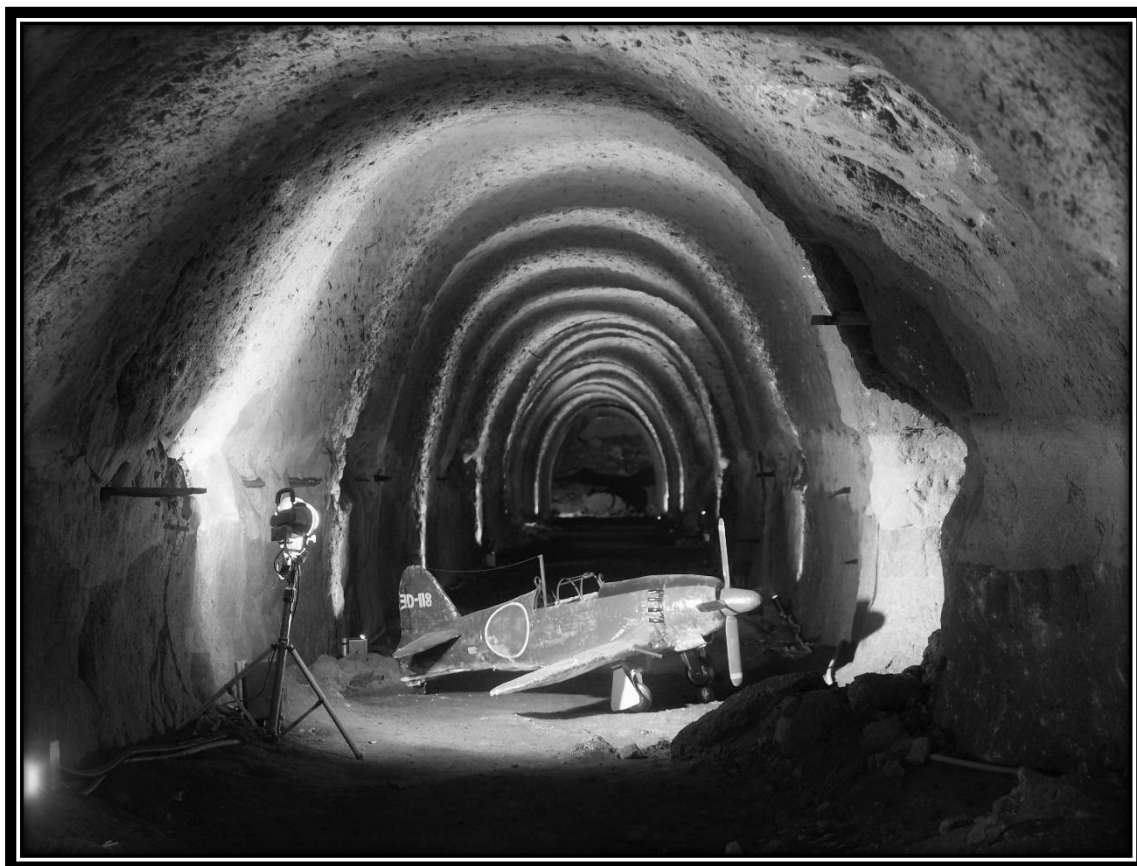
1月12日	役員会	県央活動研修、青少年芸術祭作品整理・審査会、まとめ誌、活動報告、活動予定について	青少年センター
3月 2日	三役会	全体会、委嘱式、来期全体会、3月役員会について	青少年センター
3月 2日	役員会	まとめ誌、全体会、地区活動費決算書提出及び残金戻入、三部会事業計画、活動報告、活動予定について	青少年センター
3月23日	全体会	事業報告及び決算報告等について	青少年センター

(2) 専門部活動報告

① 野外部・文化部合同活動

実施日	内 容	人数	場所等
6月 2日	野外部・文化部合同専門部会議	12	青少年センター
7月	野外部・文化部合同専門部会第2回会議 (書面開催)	12	
10月17日	野外部・文化部合同研修会	30	芹沢公園内

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は野外部、文化部合同の活動とし
ました。



② 「きずな」編集部

実施日	内 容	場所等
7月 2日	青少年指導員広報誌「きずな」第62号第1回編集会議	青少年センター
10月28日	青少年指導員広報誌「きずな」第62号第2回編集会議	青少年センター
11月17日	青少年指導員広報誌「きずな」第62号第3回編集会議	青少年センター
12月 1日	きずな第62号(12月1日発行)仕分け・配布作業	青少年センター
12月 1日	青少年指導員広報誌「きずな」第62号発行	

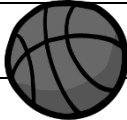
(3) 対外関係

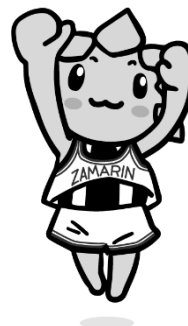
実施日	内 容	場所等
4月20日	県青少年指導員連絡協議会第1回理事会(オンライン開催)	
6月14日	県青少年指導員連絡協議会第2回理事会(オンライン開催)	オンライン参加
6月17日	県央地域青少年社会環境健全化推進連絡会議(書面会議)	
6月30日	市防犯協会総会(書面会議)	
6月30日	市社会を明るくする運動推進委員会(書面会議)	
6月30日	市安全安心まちづくり推進協議会総会(書面会議)	
7月 2日	市青少年問題協議会	青少年センター
7月	県央地域青少年指導員活動研修会 【7月に延期 → 中止 → DVD送付】	
7月21日	県青少年指導員連絡協議会第1回委員総会(書面会議)	
9月 7日	市青少年健全育成大会起草委員会(書面会議)	
9月15日	県央地域青少年指導員第1回連絡協議会(オンライン開催)	
9月17日	市青少年相談室連絡協議会(書面会議)	
9月22日	市中学生の主張作文コンクール第1回審査会	青少年センター
10月 7日	市中学生の主張作文コンクール第2回審査会	青少年センター
10月 8日	市安全安心まちづくり旬間 推進激励式	座間市役所

10月11日 ～20日	市安全安心まちづくり旬間 防犯啓発活動	コミュニティセンター等
10月14日	市青少年善行ほう賞審査会	青少年センター
10月15日	県青少年指導員連絡協議会第3回理事会(オンライン併用)	オンライン参加
11月 3日	市制施行50周年記念式典	ハーモニーホール座間
11月 4日	市長インタビュー(きずな第62号記事)	座間市役所市長室
11月23日	市青少年健全育成大会	ハーモニーホール座間
1月28日	県青少年指導員連絡協議会第4回理事会(オンライン併用)	オンライン参加
3月 4日	県青少年指導員連絡協議会第5回理事会(オンライン併用)	オンライン参加
3月18日	県央地域青少年指導員第2回連絡協議会(オンライン開催)	
3月30日	県青少年指導員連絡協議会第6回理事会(オンライン併用)	オンライン参加

2 市からの受託事業

(1) 第33回青少年フェスティバル

実施日	件名	内容	参加人数
6月	実行委員会(書面)	昨年度の実績・今年度の取り組みについて	
12月 4日	南中学校区	フリースロー、スカットボール、スリッパ飛ばし、ストラックアウト、キックターゲット	228
12月 4日	西中学校区	部活動見学 	294
合 計			522



(2) 第42回青少年芸術祭「青少年美術展」

実施日	会議名	内容
7月 7日	市青少年芸術祭実行委員会結成会議(書面)	規約・予算・役員選出等について
10月 7日	展示部門会議	全体構想・作業日程等について
11月上旬	作品出品依頼	市内各校へ募集要項等の配布
1月7日～ 21日	作品回収	各校から作品回収
1月31日	作品整理・審査	作品整理・奨励賞選出・受賞作品の写真撮影
2月25日	青少年美術展 前日準備	会場設営
2月26日 ～27日	青少年美術展	第42回青少年美術展

出品総数 679点・出品者数 664人・受賞作品 53点

市長賞



議長賞



教育長賞



審査員特別賞



各地区協議会活動報告

- 座間中学校区
- 西中学校区
- 東中学校区
- 栗原中学校区
- 相模中学校区
- 南中学校区

1. 地区の特色
2. 地区の活動目標
3. 地区の主要活動
4. その他の活動
5. 2年間を振り返っての感想

座間中学校区

1. 地区の特色

相武台前駅周辺には次々とマンションが建設されるなど、相武台、緑ヶ丘地区が住宅地になりました。また、相武台前駅もリニューアルされ、相武台南口の道路も拡張されるなど、周辺の施設も賑わいを見せています。その一方、小池地区は水田こそは全く姿を消しましたが、畑とその中に点在する雑木林や竹林などは手つかずの自然がまだ色濃く残っている地域であるとともに、昔からの習慣や伝統行事も数多く残っています。

また、校区内には市役所、文化会館、図書館、消防本部、市民体育館、そして総合病院も新設され、「市民ふるさとまつり」をはじめとして様々な行事のメイン会場になるなど市の行政・文化の中心となっています。

2. 地区の活動目標

- ① 理解と愛情による青少年の健全育成
- ② 地域の文化、レクリエーション活動の推進
- ③ 地域、学校、家庭との連携した活動
- ④ 学校、青少年団体、自治会など他団体の活動に参加支援



3. 地区の主要活動

令和2・3年度の2年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、毎年恒例の座間中学校区青少年フェスティバルが2年連続開催中止という残念な結果となってしまいました。

4. その他の活動

座間中学校には、地域交流協議会という歴代PTA役員や地域の方々を中心とした任意団体があり、青少年指導員は全員この会の会員で年間を通じて連携を図った活動をしています。

本会は座間中学校及び生徒を全面的に支援しており入学式や卒業式の参観の他、吹奏楽部による「ふれあいコンサート」の観覧、青少健まつりの協力そして駅伝大会の観覧など様々な行事に青少年指導員と共に参加し活動しています。

今期はやはりコロナ禍で思う様な活動が制限されてしまいましたが、その中でも座間キャンプや座間中学校、相武台東小学校の防犯パトロールに参加するなど出来る限りの活動を行いました。

5. 2年間を振り返っての感想

有 山：今期は野外部の副部長を務めさせていただきましたが、ご存じのとおりこの2年間はほぼ活動ができませんでした。子ども達の安全を確保することが最優先なので仕方ありませんが、これからは実施できる方法を考えて子どもたちが触れ合う機会を作っていきたいと思います。

今後も当地区の指導員と協力し、青少年の育成に努めていきたいと思います。

栄：今年度はコロナに振り回された2年間でした。

当初は青少年指導員として自分にはいったい何をしたらいいのだろうか？何をすべきなのだろうか、苦悩していましたが、結局行事もイベントもほとんどが中止に！

結局何も出来ずに2年間が終わってしまった様に感じています。

来期は少しでも子ども達が楽しいと思える様な、今だからこそ出来る何かが出来たらいいな～と思っています。

中 村：今期もコロナ禍のため思うような活動もできませんでした。来期は学校区、地域のため皆で少しでもお手伝いできる活動ができるようになりたいですね。来期もよろしく願いいたします。

山 本：コロナに振り回された2年間でした。

何も出来ず終わるのかと思っていましたが、研修会、作品展をやる事が出来ました。作品展で子ども達の笑顔を見て、今年はずっと多くの笑顔を見れたら良いなと思いました。

人 見：今期も無事に終了しました。これも色々と動いて下さっていた方々のおかげだと思います。

ありがとうございました。お疲れ様でした。来期もよろしく願い致します。

佐久間：今期はコロナ禍に始まりコロナ禍に終わってしまったことで、きずな編集担当を任された私は大変苦戦しました。各イベント開催中止や人が集まることまで制限されことで活動ができていないことで記事掲載には大変苦戦しました。

また、私たちの役割である青少年指導員の役割も果たせないで終わってしまい

ました。来期は子ども達とふれあいが出来る活動ができる日を楽しみにしています。

小 坂：新型コロナ感染症の影響の中、緊急事態宣言、まん延防止措置等に振り回されながら青少年指導員としての2年間が終わりました。

この2年で参加し、実行できたのは第42回青少年芸術祭「青少年美術展」だけでしたが、規制のある中でもたくさんの方に来場していただき、準備から片付けまで皆さんと協力して、とても満足したものになりました。来年度も自分にできることを精一杯努めていきたいと思います。

東 : 初めて青少年指導員として、1期が経ちました。コロナ禍ということもあり、活動に制限がかかり例年通りとはいかないことが多かったですが、毎回の会議で地域の方々の熱い想いを感じることができました。

引き続き、指導員として関わらせて頂けることのありがたさを感じながら、2期目も務めていきます。よろしくお願いいたします。

西 中 学 校 区

1. 地区の特色

西中学校区は座間市の西側に位置し、まわりには水田と畑が多く、西には相模川と自然に恵まれた環境にあります。小中高、養護、どの学校からも大山、丹沢連峰が一望でき、夕日の沈む綺麗な風景が見られるのも、この地区の宝だと思います。また、ひまわりまつりや、大風祭りなどの会場に歩いて行けるほど近いというのも特権です。

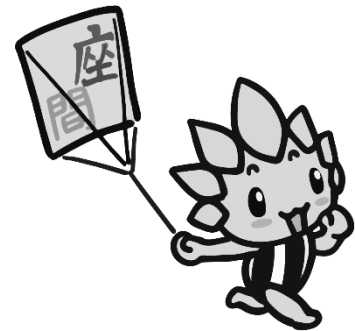
まわりに田んぼが多いことから、地域の方々にご協力いただき、座間小、入谷小は田植えから稲刈りの後、はざかけをして脱穀までのすべての米作りを体験します。例年は12月に学校行事として自分たちが収穫したお米で餅つき大会を開催し、地域の方々とふれあいながら美味しいお餅をいただくのですが、この2年間はコロナ禍で様子が変わり、餅つきはできなかったものの、お米を持ち帰ることができています。

学区内には、神社、仏閣や古くからの農家も多く、座間の伝統や文化を継承している地域で、お囃子や歌舞伎などの伝統文化を地域の方々が子ども達に指導していただいています。

2. 地区の活動目標

『地域に根ざした指導員活動』が目標

- ① 地域行事に積極的に参加しよう
- ② 地域の輪、人の輪を大切にしよう
- ③ 地域の文化、レクリエーション活動の推進役になるよう努力しよう



3. 地区の主要活動

◎ 西中学校区青少年フェスティバル

令和2年度【12月5日(土)】

開催日直前まで暗中模索しましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み開催を中止しました。

令和3年度【12月4日(土)】 参加人数294名

このコロナ禍で今年度の開催も危ぶまれましたが、PTAの皆さん、地域の方々の協力のおかげで無事に開催することができました。例年は5、6年生対象で部活体験をして昼食にカレーを食べていましたが、現

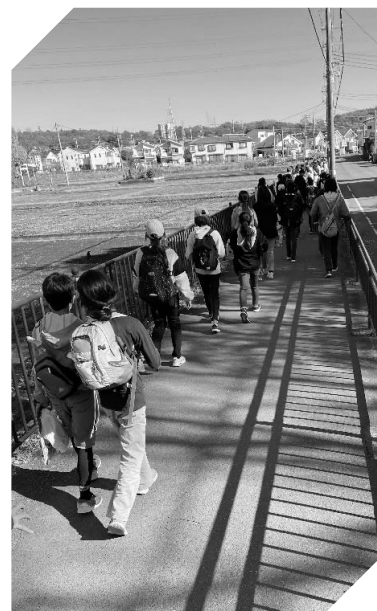


状を鑑みて密になることを避け衛生面も考慮し、今年度は6年生のみを対象で部活体験ではなく見学とし、カレーの提供も控えました。

事前準備として数日分の検温などの健康チェックシートの記入をお願いし、当日会場では消毒・除菌を徹底し、体育館や外でも密にならないよう注意しました。

そんな中でも、子ども達は気になっていた部活を見学、小学生から質問が出るなど中学生との楽しい会話もあり、制限された中でも充実した時間を過ごすことができたかと思えます。

恒例になった小学校からの引率では、参加人数は多いもののさすが最上級生、きちんと列をなして静かに歩いていました。早く普通の日常に戻り、フェスティバルで部活動の楽しさを体験できるよう願うばかりです。



4. その他の活動

例年では、7月31日の鈴鹿神社宵宮祭時の境内及び周辺の防犯パトロールや西中学校の学期始まりの2週目と4週目の（火）（木）に登校時、昇降口付近で挨拶運動を行っています。が、この2年間は、コロナの影響で小学校や中学校への登校自粛などもあり、活動が制限されました。

鈴鹿神社の宵宮祭も無くなり、周辺防犯パトロールも中止となりました。この2年は我慢の2年間でした。



5. 2年間で振り返ったの感想

角 田：建築の仕事に携わっています。今の現場が小学校の近くで、毎朝小学生が元気に登校している姿を見ることが出来ます。大きな交差点があり、交通安全員の方が道路を渡る児童の安全を見守っています。

子ども達は元気に交通安全員の方に「おはようございます！」「いってきます！」とあいさつをしながら笑顔で横断歩道を渡って登校します。そんな子ども達に元気をもらって一日の仕事頑張っています。

私たち指導員の活動も子ども達の笑顔に携わることだと思っています。その笑顔がもっと増えるよう仲間と一緒に活動していることを嬉しく思います。

出来ることが少なかったこの2年間、来期はもっと子ども達の笑顔に触れたいと思います。

小林：この2年は、本当にコロナに振り回されました。なかなか思うような活動が出来ず、歯痒い思いをしました。

次の2年は、みんなで思い切り楽しみたい！子どもたちの笑顔に沢山出会いたいし、他地区の指導員さんとも交流したいな！

鈴木：今年もコロナ禍で多くの活動が制限されてしまいました。そんな中、西中は青少年フェスティバルを開催することができ、例年以上に参加してくれる小学生が多く、見学だけでしたが、喜んでもらえたみたいで良かったです。

中止にするのは簡単ですが、まだまだ不自由な状況は続きそうです。工夫して子ども達に喜んでもらえる活動をしていきたいですね。

明石：コロナに翻弄された2年間でしたが、昨年12月に青少年フェスティバルを開催出来たことが一番印象に残っています。コロナ禍ということで制約も多かったのですが、嬉しいことに参加者も多く、子ども達の笑顔にこちらも癒されました。

来期もチームワークで支え合い楽しく活動していきたいと思います。

吉川：皆さんお元気ですか、2020年1月からの新型コロナウイルスの影響でイベントなど地域活動が休止して、すっかり生活様式が変わってしまった今日です。一番の影響は子ども達の学校生活の制限ですね。早く平常に戻り様々な行事、思い出づくりを元気いっぱい作ってもらいたいです。

今年度も指導員として子ども達の地域サポートに頑張ります！よろしく願い致します。

松本：今期は、殆ど何も活動が出来なく、他の青少年指導員さん達にも会えないまま終わりました。

来期は出来ないでは無くどうしたら出来るかを考えながら、明るく楽しく青少年指導員の活動をやっていきたくと思います。

山城：活動に慣れてきたところでコロナに翻弄され、その中でできることを模索してきました。

3年度は感染対策に十分配慮しながら青少年フェスティバルを開催。たくさんの小学生が参加し、中学校部活動を見学。来年度に繋げていくといったお手伝いもでき、まだまだ少しずつではありますが今後も青少年指導員として子ども達を見守っていきたいと思います。

中島：令和3年度の活動を終えて、西中学校区は青少年フェスティバルを中学校と協力して開催でき、小学生、中学生の輝いた顔を見る事ができ、私達指導員も次への活力となりました。

倉澤：2年目の青少年指導員として参加させていただきました。昨年度中止となった、青少年フェスティバルも、今年度は工夫しながら何とか開催でき、小学生や生徒たちの沢山の笑顔が見られて本当によかったです。指導員をはじめ、PTAの方々には感謝しております。



東 中 学 校 区

1. 地区の特色

長期の経済低迷により、高度成長期時代から市の発展に貢献してきた工場などが撤退し、地区の特色であった企業城下町的要素は薄らいでいます。その代わりに、大型スーパーや大型遊戯施設が何軒もでき、地域の人たちだけでなく、遠方からの買い物客なども多く、休日は車の渋滞が続いています。

隣の学区（相模中）に大きな商業施設がある為、国道246号線から東中学校区を通り行く車も、以前と比較して増加している傾向にあります。

しかし、長年続けて頂いている登下校時の地域の方々の見回りや、PTAの登下校時指導に助けられ、大きな事故もなく、子ども達は安心して暮らしています。

2. 地区の活動目標

「地域密着型の指導」が基本目標

- ① 健全育成協議会との綿密な連携
- ② 自治会、青少年団体などの活動事業に積極参加
- ③ 青少年の社会参加活動への援助

3. 地区の主要活動

令和2年度・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地域のほとんどのイベント、お祭りが中止になりました。

それにより指導員活動も大きく制限されました。メインイベントのフェスティバルも協議の結果2年連続中止となりました。

この機会に、フェスティバルで使用する大鍋カレー調理用のかまどの点検・修理をして、来年度以降に備えることができました。



4. その他の活動

例年「ひばり小ふれあいまつり」「旭小ときめき秋祭り」に、指導員として無料体験「けん玉コーナー」「バルーンアートコーナー」を設け、子ども達とのふれあいを楽しみにしていたのですが、こちらも中止となり本当に残念でした。

来年度こそ、子ども達の笑顔溢れる機会が少しでも増えることを期待しています。

5. 2年間で振り返っての感想

山 田：この2年間は、「コロナウイルス感染防止」というフレーズを皆が常に頭の中におき、制限された生活、活動をしてきたと思います。例年通りの活動ができないことがこんなにも寂しいものかと痛感しました。

フェスティバルについては、形を変えてでもできないものかと協議し、結局2年間続けて中止するという苦渋の決断は本当につらいものでした。

今後、地域や小学校のお祭りで指導員が活動し、子ども達の笑顔に会える機会が少しでも増えることを祈るばかりです。

佐藤(和)：コロナ禍に色々な活動を抑え込まれた期間で、お祭りやイベント会場に集まる子ども達の元気な笑顔や、会場内のどっと湧いた笑いの渦がとても懐かしく、また地域の方々とお会いする機会も大分減りましたね。

来期は学校や地域の行事が普通に出来る様になることを期待し、皆さんと気持ちよく「乾杯」できる日を心待ちにしています。

中 川：コロナ禍で学校行事が全て中止の異常事態に見舞われた2年間でしたが、それでも野外部、文化部合同研修や青少年美術展等、合間を縫って無事に開催された事が妙に嬉しく思いました。2年間実施して無いフェスティバルもやり方忘れたが改良したお鍋を今年は試して見たいです。

以上宜しく頼みます！

中 野：少しずつ活動が出来るようになり、うれしく思います。

本格的に活動が出来るようになった時に、以前のように動けるか不安になりますが、このような状況の中でも出来ることがあればと、前向きにいたいと思います。

佐藤(伸)：自分は仕事上自分が活動出来る時にしか活動出来ていなかったのに、コロナ禍で学校行事や地域の行事が中止となり、指導員の活動をする機会が減ってしまい、何も役に立てずに2年間が過ぎてしまいました。

これから先がどう変わって行くのか分かりませんが、自分にも指導員としての役割がある事を信じて、前向きに頑張っていきますので、これからもご指導の程宜しくお願い致します。

吉 田：まず、第42回座間市青少年芸術祭青少年美術展が開催出来る事が出来て、本当に嬉しかったです。コロナの2年間、何も動く事ができず、役に立たず終わってしまいました。

新年度は、皆さんと活動が出来たら嬉しいです。その時はどうぞよろしくお願いたします。

綿 貫：この二年、制限が多い中、例年とは時期を変え、やり方を変え、「活動は減っても子どもたちの笑顔は減らさない」そのために何が出来るのかを考え、活動しました。難しいことも多く、できたことは少ないですが、今後につながる良い機会（時間）を与えて頂き、感謝しています。

栗原中学校区

1. 地区の特色

座間の中心に位置するここ栗原は、都市化と昔ながらの風景が混在している地域です。遠くに阿夫利嶺を望み、公園では四季折々の風景が楽しめます。

ここに住む人々は、地域の文化と風習を守り、それを継承する活動を展開しています。青少年の健全育成においても地域の関連団体が連携をとりあい、それにふさわしい地域づくりを目指しています。

2. 地区の活動目標

- ① 指導員として、より地域の状況を把握する
- ② 挨拶を通し青少年への声掛けを積極的にする
- ③ 健全育成連絡協議会との情報交換を密にする
- ④ 地域行事への参加、協力を積極的にする
- ⑤ 青少年の夢の実現に協力を惜しまない



3. 地区の主要活動

◎ 栗原中学校区青少年フェスティバル

令和2年度（令和2年12月中止）

前年度発生した感染症が猛威を振るい、青少年フェスティバルはやむなく中止いたしました。例年人気のカレーの材料であるジャガイモと玉ねぎを育てる為、早くから畑の準備を始めていた大澤さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

令和3年度（令和3年12月11日中止）

どのような形なら感染症に対応しながらフェスティバルが開催できるか、何度も話し合いました。今までと全く違った形でやってみようと色々な案が出ましたが、開催には至りませんでした。フェスティバルは中止となりましたが、話し合いの中で良い案が出ましたので、それについて準備が始まり、今後は楽しみにになりました。



4. その他の活動

あいさつ運動

栗原中学校PTA活動の「あいさつ運動」に、毎月一回、青少年健全育成連絡協議会の協力日として校長先生をはじめ、先生方、PTA、自治会、民生委員の方々と一緒に参加しています。



コロナ禍のため数回しか実施されませんでした。校門周辺に立ち、登校する生徒さんに無事に学校に来て良かった！という感謝の気持ちを込めて、（今までより小さな声で）「おはようございます。」と声かけすると、「おはようございます」の返事や会釈がもらえると、とても嬉しいです。

5. 2年間を振り返っての感想

大澤：今期は新型コロナの影響で多くのイベントが中止された。我々、有償ボランティアとしても非常に不甲斐ない2年間になった。任期を、どのようにまとめて良いかもわからない状況である。今までを振り返るより前を向きこれからの活動をどんな形で継続して行くかを充分に見極めて、来期に繋げて行きたい。

寺田：今期はコロナ禍のため、活動に制限がありおもう様な活動が出来なかったことが残念でなりません。その中で3年ぶりに青少年芸術祭を開催できたことはなによりでした。うれしい限りです！！

これからも元のような生活に戻れないかもしれませんが、その中で私達にも少しずつ前に進めていく力があると信じ、活動を続けていきたいと思えます。

深谷：今期2年は、コロナ禍でほとんど活動ができず、残念に思っております。中学校とのかかわりも少なく、不本意な学校生活だろうと気がかりでしたが、あいさつ運動の際、部活動で活躍している横断幕が何枚も張られているのを見て、生徒達が頑張っていることに逆に元気をもらいました。

来年度こそは、いろいろな活動ができるようになる事を願っています。

平 野：世界を揺るがすコロナ禍の影響を受け、子どもたちや地域の方々との交流や体験も制限されてしまい、青少年指導員としての活動が出来ずとても残念な2年間でした。

今後も状況は大きく変わることはないと思われませんが、少しでも子どもたちが良い方向に進むことが出来る様なお手伝いをして行きたいと思います。

2年間大変に有難うございました。

松 崎：多くの皆さんも感じていると思いますが、新型コロナウイルス感染症の影響で十分な活動が出来ず残念な2年間でした。

次期では今期消費出来なかったエネルギーを爆発させ、楽しい2年間を過ごしたいと思っています。よろしくお願いします。

池 谷：あたり前と思っていた日常が、あたり前でない！と思い知らされた2年間…色々なことを考えました。できない事を悔やむのではなくやれる方法を考え、子ども達の学生生活が少しでも楽しくなるよう活動できればと思います。ありがとうございました。

神 永：コロナ禍のため、活動できる機会が少ないまま1期目があっという間に過ぎてしまい、残念に思っておりましたが、今年度は青少年美術展を開催することができ、多くのご家族にご来場いただきました。

2年間の活動の最後に、地域の子どもの笑顔の間近に見られたことがとても嬉しく、指導員を受けて良かったと実感いたしました。

藤 本：新型コロナウイルス感染症がなかなか収まらず、青少年フェスティバルを開くことができないなど、この二年間は十分な活動ができない難しい状況でした。また体育館で小学校の児童たちと中学校の生徒たちが一緒になってゲームで遊んだり、カレーを笑顔で食べたりする日が来ることを心から待っております。四年間、青少年指導員を務めたことでたくさんの方と関わり思いに触れることができました。大変お世話になりました、そしてありがとうございました。



相模中学校区

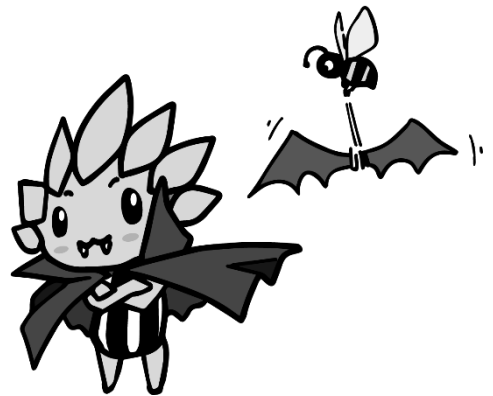
1. 地区の特色

私たちの地域は、市の最北に位置し、相模原市と大和市に隣接した、小田急相模原駅を中心に広がる商店街と住宅と工場が混在する町です。最近では、工場の跡地や駅周辺の整備に伴い高層マンションが建設され、町の外観も変化し始めています。

この地域の特色として、地域交流の核となる神社・仏閣が一つもないことが挙げられます。そのため、水道道に植樹された桜並木で、地域交流の場として「桜祭り」が開催され、今ではなくてはならない行事として定着しています。

2. 地区の活動目標

- ① 地域に密着したふれあい
- ② 地域の行事等に参加協力し健全育成団体との連携を図り、青少年健全育成のサポート役となる



3. 地区の主要活動

ここでいう「主要活動」とは2回の「青少年フェスティバル」のことである。6中学校区の先陣を切り、平成29年度から始め定番になりつつあるハロウィンと協力団体さんが振る舞う「食」と楽しいゲームなどの様子を書くのだが、今期はコロナの影響で2年続けて早々にフェスティバル中止を決めそれも書けなくなった。フェスティバル関係の活動というと、毎年ご協力いただいている団体さんに「開催中止ハガキ」を出しただけ。

ほぼ毎月ある役員会を受けて行われる地区協議会も全てLINE開催にし、指導員仲間と顔を合わせたのは「きずな」掲載用の集合写真撮影の一回のみ。この撮影会が今期の「地区の主要活動」になってしまった。



4. その他の活動

中止を決めた「令和3年度 青少年フェスティバル」の予算で、当地区（相模中・相模が丘小・相模野小）の子どもたちを元気づけるためのオリジナルクリアファイル（アマビエとごまりんを合体させた「ザマビエ」に「疫病退散」の願いを込め）配布を計画。

市政戦略課にごまりんデザイン
改変の承認をえて青少年課と交渉したが、フェスティバルの主旨とは異なるという理由で予算が使えず全校配布はかなわなかった。そこで指導員活動費を全て使って700枚を作成し、相模中学校の生徒・教職員、フェスティバルでお世話になっている協力団体にも届けることができた。



5. 2年間を振り返っての感想

吉澤：今期はコロナで始まりコロナで終わった。世界中が息を止めた中で、指導員活動など不要不急に思えた。「この状況下で何かできることはないのか?!」などとは考えなかった。思考停止していたのかもしれない。思考停止のまま指導員卒業は…ないかな。仕切り直しです。

東谷：あっという間の2年…そして10年…。

家族の人数もマックス6人から今は2人。でも、巣立った子たちがそれぞれ新しい家族を作り、新たな命が誕生…と、これだけでも変化変化で、想像をはるかに超えている。この先どんな変化球にも、びくともしない自分でいられたら最高です。

高橋：今期はコロナ禍で制限もあり活動ができずに終わってしまいました。

来年の美術展はもっともっと沢山の作品を飾ってあげたいと思いました。

石 田：最初に思うことと言えば、中国武漢から発したと言われる、武漢熱とも言われた新型コロナウイルス蔓延に伴い、人が集まる行為が禁止となり、イベントは全て中止…と言ってる内にもう2年が過ぎてしまいました。ワクチンも3回打ち、免疫力もつきましたので、新たな年度に向け頑張りたいと思います。

茂 木：指導員になってすぐにコロナ禍となり振り返るような活動が全くできませんでした。同じ中学校区の方達とも数回しか会えず実感の無い2年間になってしまいました。
活動が再開した暁には是非皆さんと楽しく交流できればと思います。

金 子：青少年指導員として、この2年間で振り返るとできたことはありません。それも指導員の方が負担のないようにサポートしてくださったからです。
前回、初めて報告会に参加させていただきました。地域の方がこんなにも支えてくださることを実感しました。
これからは一教職員として座間市を支えていきたいと思っています。

南 中 学 校 区

1. 地区の特色

私たちは国道246号バイパスの南側から海老名市境までの南中学校区を活動範囲としています。区域内には東地区文化センター、東原コミュニティセンターがあり、斜面地等の宅造化により新築住宅地が増えてきました。学校近くには目久尻川や蛍で有名ないっぺい窪があり6月には蛍の舞う姿が見られます。また、近くには龍蔵神社があり毎年7月には祭礼でにぎわいます。

2. 地区の活動目標

- ① 地域の行事等へ積極的に参加、協力する。
- ② 地域に根ざした指導員を目指す。
- ③ 青少年健全育成連絡協議会との交流を密にし、情報交換をする。

3. 地区の主要活動

◎ 南中学校区青少年フェスティバル

令和2年に発生した新型コロナウイルスの蔓延防止対策により、青少年指導員活動の自粛が続き、毎年、12月に実施していた「青少年フェスティバル」が、令和2年中止となり令和3年は開催が危ぶまれましたが、フェスティバル実行委員会の開催実施に向けての準備と、学校側の協力により開催することが出来ました。ただ、毎年案内を出していた各小学校児童の参加を自粛していただき、南中生徒のみの参加により12月4日（土）に実施しました。



当日は、天候にも恵まれ沢山の生徒が参加し、グラウンドでの競技をおおいに楽しんでいました。成績発表の後には事前予告をしていた校長との「じゃんけん大会」で、生徒もスタッフも大盛り上がり、競技終了後の食事提供を今年は閉会式後とし、楽しいフェスティバルの幕閉めとなりました。

新型コロナ渦により活動自粛を余儀なくされていた中で開催でき生徒から「楽しかったです」の声を聴くと、フェスティバルを開催出来てよかったと思います。



4. その他の活動

コロナ禍の中で活動制限がありますが、例年、東原コミュニティセンターの「コミセン祭り」や東地区文化センターの夏季イベント「サマーアイランド」に実行委員として参加。「ゲーム」や「スイカ割」を担当している。

また、南中青少年健全育成連絡協議会に参加、龍蔵神社、栗原神社の祭礼日にパトロール実施。

5. 2年間で振り返っての感想

萩原：あ～ もう二年間が終り～！

コロナ感染症に振り回された二年～！

そんな中でも十分なコロナ対策を取りながら青少年フェスティバルが出来た事が何よりも財産となります。残念ながら小学生の参加は見送りましたが参加した中学生の無邪気な笑顔にはこちらも心が和み、胸にこみ上げるものがありました。

やった！やって良かった！ちょっと予算オーバーでもOK！

協力して下さった学校、PTA、他学区指導員には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

大矢：この2年間、新型コロナウイルス発生で指導員としての活動も自粛を余儀なくされました。指導員活動は思うように出来ない2年間でしたが、コロナが収まり通常の活動ができるようになってほしいものです。

2年間ありがとうございました。

牧 : 私のモットー。『出来る事を出来る時に出来る場所で!』例えば...自転車通勤の往復でパトロールしながら遠回りして公園の前を通ってみたり...登下校の児童生徒をちょっと意識して見守ってみたり...団体での活動は厳しいことも多かったけど、ひとりでも活動出来る事!結構あるんだな。と実感。そんな2年間でした。

桑 畑 : 時が経つのが早く、あっという間の2年でした。コロナが流行り活動という活動が出来ない中を昨年は、フェスティバルを開催が出来て短い時間でしたが中学生と触れあえて良かったです。
来年度はコロナが収まり、今まで通りの活動が出来ることを願っているこの頃です。

谷 : 「知ることは感じることの半分も重要ではない」レイチェル・カーソンの言葉です。自然に触れる際の心得ともとれる言葉ですが、日常生活にも当てはまります。
何事も、直接見たり触ったり、五感で刺激を受けて、心が動かされる体験をしなければ本当のことは分からない。子どもたちに感じてもらえる活動をしていきたいと思います。

原 田 : 指導員のメンバーとしてチームに入れていただき、活動を通して指導員の方々や地域の方々の繋がりは、子どもの健全育成には必要不可欠であることを実感しました。
コロナ禍ではありましたが、活動の仕方を工夫し、青少年フェスティバルなど実施することができ、普段では見られない子どもの姿を見ることができました。これからも指導員の方々や地域の方々と共に、子どもを育むための温かい環境作りを目指していこうと思います。2年間、ありがとうございました。

全 体 活 動 報 告

(1) ふるさとまつり

(2) 座間市成人式

(3) 青少年芸術祭
(青少年美術展)

(4) 専門部活動

① 野外部・文化部合同研修会

② きずな編集部

(1) ふるさとまつり

令和2年度、3年度の市民ふるさとまつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続の中止となりました。来期こそは子ども達の溢れる笑顔が見られることを心待ちにしています。

(2) 座間市成人式

○ 令和2年度（令和3年1月11日中止）

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、令和3年1月11日（月）の成人の日の直前の1月7日に緊急事態宣言が発令されました。座間市では会場に集まったの式典を中止となりました。残念ながら対面でのお祝いは叶いませんでしたが、市長の挨拶や市議会議長の祝辞、新成人代表のピアノ演奏や成人の誓いなどがYOU TUBEの座間市公式チャンネルで動画が公開されました。

○ 令和3年度（令和4年1月10日開催）

令和4年1月13日（月）に2年ぶりの開催となった成人式では、新型コロナウイルス感染症の影響により式典を午前、午後の2部制で、市内新成人対象者1,191人中、822人（男子446人、女子376人）が参加し、厳粛な雰囲気の中行われました。

青少年指導員は、当日、受付及び会場整理、接待等に従事しました。会場ロビーにはスーツやはかま姿・晴れ着姿の新成人たちが集まり、笑顔が満ち溢れていました。式典が始まると会場の新成人たちは静粛に受け止めて新たな誓いをそれぞれの胸に刻んだことと思います。



(3) 青少年芸術祭

○ 令和2年度（中止）

第41回「青少年芸術祭」は、人形・音楽部門を含め、毎年多くの青少年の参加を得ています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となってしまいました。

令和2年度の展示部門（青少年美術展）は、展示ができませんでしたが何か出来る事を、と考え抜いて、審査員による審査結果を写真に収め、市のホームページに掲載しました。制限される中、遠方のおじいちゃんおばあちゃんにも観ていただけたのではないのでしょうか。

また、今回は今まで募集していた応募点数を減らしたり、応募種目の彫塑、工芸作品の募集を取りやめたりと、様々な制限下の中でも小学生、中学生、高校生、一般の部と多くの青少年から様々なジャンルの作品を出品されました。青少年指導員は、学校への出品依頼、作品搬入、作品整理、審査協力を行いました。

審査は、元三軌会会員の吉野光治先生、日本写真協会会員の高橋ぎいち先生に奨励賞を選出いただきました。力作が多く、先生方もだいぶ悩まれていました。4賞の選考は、指導員も参加し、市長賞には、相模向陽館高等学校4年生の岡野篤生さん、議長賞には、相模中学校3年生の佐々木紀音さん、教育長賞には、座間小学校3年生の片野心乃さん、審査員特別賞には、座間総合高等学校2年生の横田結衣さんが選出されました。

○ 令和3年度

令和3年度は新型コロナウイルス感染症が未だ収束していない中でも、四部門のうち受賞式は残念ながらできませんでしたが展示部門（青少年美術展）及び音楽部門を十分な感染対策の元、開催することができました。

今年度の展示部門（青少年美術展）の作品も、感染対策による応募制限の中、市内在住・在学（在勤）の青少年を始め、小学校・中学校・高等学校・座間養護学校の374人の青少年から375点の作品が出展され、その中から奨励賞を選出するための審査を行いました。市長賞には、栗原中学校2年生の坂本樹俐さん、議長賞には、座間高等学校1年生の佐々木楓実さん、教育長賞には、ひばりが丘小学校1年生の小笠原孝太郎さん、審査員特別賞には、相模向陽館高等学校4年生の小寺愛華さんが選出されました。



また、今回受賞式ができず、受賞した子ども達と新たな試みとして、審査員の吉野

光治先生、高橋ぎいち先生の作品を展示しました。多くの人たちが足を止められて大変好評でした。



(4) 専門部

活動

① 野外部・文化部合同研修会

○ 令和3年度（令和3年10月17日（日）開催）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、野外部及び文化部研修活動については、自粛とすることにしました。

令和3年度はコロナ禍の中でも出来る事を考え、まずは野外部と文化部ごとで研修活動を今年度は合同で1回の開催とし、野外部、文化部の指導員達で話し合った結果、市内の芹沢公園内にある栗原水源の施設見学と、同公園内にある地下壕の見学、そして座間市役所から芹沢公園までウォーキングを計画しました。しかしながら地下壕見学については安全面の観点から取りやめて歴史講座となりました。



当日は、強い風と雨に見舞われ急きよ市役所からのウォーキングを中止し、市の

担当職員による座間の水道のお話しを聞き、栗原水源の施設内を見学し、実際に手押しポンプで水出しするなどしました。

次は地下壕のお話を聞きました。まずは台湾少年工顕彰碑の前でお話を聞きます。芹沢公園にはかつての高座海軍工廠の地下工場がおかれていて、戦闘機の製造のために台湾から多くの少年が動員されていたこと、台湾少年工の歴史を記念して設立された顕彰碑についても改めて知ることができました。その後、写真パネルを用いて見学ができなかった地下壕内部の様子を見て、知ることができました。

普段何気なく使っていた水や何気なく散歩していた公園に対する意識が変わった研修となりました。



② 「きずな」編集部

編集部の活動は広報誌「きずな」の発行（初年度2回、次年度1回）と、期末に青少年課で編集・発行される本誌の「各地区協議会活動報告」の原稿作成等です。今期は「きずな第60号・61号・62号」を発行しました。

令和2年10月発行の「きずな第60号」は、1面で座間中学校区での「咲かせよう！！座間のひまわりキャンペーン」協力と座間中学校内塗装作業の様子を記事にしました。2・3面では今期の各学区の青少年指導員の紹介、4面では青少年芸術祭人形劇部門で活躍している青少年指導員の有志・OBで構成される人形劇サークル「まりん座」の特集と南中学校区の活動紹介として「サマーアイランド」参加の記事を作成しました。

令和3年3月発行の「きずな第61号」は、1面で第41回青少年芸術祭の特集記事として青少年美術展の審査風景と入賞作品を紹介しました。2・3面は各地区の活動報告を、4面では令和2年度に県青少年育成活動推進者表彰を受賞された大

澤道夫さん、県青少年指導員表彰を受賞された大矢弘さんの受賞コメントをいただきました。

令和3年12月発行の「きずな第62号」は、1面では「芹沢公園内『栗原水源』の見学及び写真で見る『地下壕』」と題して令和3年10月に実施した野外部・文化部合同研修会の活動報告を記事にしました。そして2・3面は特別企画として「中学生から佐藤市長へ12の質問」と題して市内の各中学校生徒達から質問を募集し、厳選した質問を佐藤市長に直撃インタビュー！未来を担う中学生達への熱い思いが伝わってきました。

4面では令和3年度市表彰で受賞された我らが会長、萩原正恵さんの受賞コメントをいただきました。

今期は、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントや各地区内で思うように活動が出来ない中で欠かすことが無く「きずな」を発刊できたことには改めて大矢きずな部長をはじめ、きずな編集部員の精力的な活動に敬意を表します。



参 考 資 料

- 令和2・3年度座間市青少年指導員名簿
- 神奈川県青少年指導員委嘱要領
- 座間市青少年指導員に関する規則
- 座間市青少年指導員協議会規約・組織
- 県・県央地域青少年指導員連絡協議会体系図
- 教育・文化・スポーツ施設一覧

令和2・3年度座間市青少年指導員名簿

(任期 令和2年4月1日から令和4年3月31日)

地区	No.	氏名	役職	専門部	地区	No.	氏名	役職	専門部
座間中学校区	1	有山 博幸		野外	栗原中学校区	1	大澤 道夫		野外
	2	栄 淑	地区幹事	きずな		2	寺田 栄枝	事務局長	きずな
	3	中村 篤人		文化		3	深谷 光子		文化
	4	山本 千種	野外部長	野外		4	平野 敦子		きずな
	5	三ツ橋 栄司		野外		5	松崎 浩司	地区幹事	野外
	6	人見 智子		文化		6	池谷 久三子	会計	きずな
	7	佐久間 頼夫		きずな		7	神永 朋子		文化
	8	小坂 好美		文化		8	藤本 健		野外
	9	東 和寿		野外					
西中学校区	1	角田 紀和	副会長	野外	相模中学校区	1	吉澤 雅規	地区幹事	きずな
	2	小林 慶子		文化		2	東谷 美樹	文化部長	文化
	3	鈴木 陽子	地区幹事	文化		3	高橋 由美子		文化
	4	明石 さゆり		文化		4	石田 信一	監査	野外
	5	吉川 正剛		野外		5	茂木 章一		野外
	6	松本 康裕		野外		6	金子 福美		文化
	7	山城 千穂		きずな		7			
	8	中島 みずほ		きずな					
	9	倉澤 香奈		野外					
東中学校区	1	山田 映子		きずな	南中学校区	1	萩原 正恵	会長	野外
	2	佐藤 和夫	副会長	文化		2	大矢 弘	きずな編集部長	きずな
	3	中川 正親	地区幹事	野外		3	牧 篤美		野外
	4	中野 笑美子		野外		4	桑畑 武	地区幹事・会計監査	文化
	5	佐藤 伸之		文化		5	谷 芳生		文化
	6	吉田 奈々子		文化		6	原田 政幸		野外
	7	綿貫 大輔		野外		7			

神奈川県青少年指導員委嘱要領

1 目的

この要領は、知事が神奈川県青少年保護育成条例（以下「条例」という。）第43条第1項の規定に基づき委嘱する青少年指導員（以下「指導員」という。）の委嘱等について必要な事項を定める。

2 指導員の推薦

(1) 市町村長又は市町村教育委員会教育長（以下「市町村長等」という。）は、青少年に対し深い理解と愛情を持って健全な育成に努めている人を、指導員として知事に推薦するものとする。

(2) 指導員の推薦に係る様式その他必要な事項は別に定める。

3 指導員の委嘱

(1) 知事による指導員の委嘱は、委嘱状を交付して行う。

(2) 指導員の委嘱に係る様式その他必要な事項は別に定める。

4 指導員の活動

指導員は、条例第43条第2項の規定に基づき、市町村や県と連携して、地域の特性に応じた青少年の健全育成に資する活動を行う。

5 指導員の任期

指導員の任期は、隔年の4月1日から翌々年の3月31日までの2年間とする。ただし、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。また、当該2年間の途中で委嘱した場合の任期は、委嘱の日から当該2年間の終期までとする。

6 指導員の委嘱の取消し

(1) 任期中において、次の各項に該当するときには、指導員の委嘱を取り消すことができる。

ア 市町村長等から交替又は解任の申出があった場合

イ 指導員としてふさわしくない非行等があった場合

(2) 指導員の委嘱の取消しに係る様式その他必要な事項は別に定める。

7 協議会

指導員活動の効果的推進及び指導員相互の連携を図るため、神奈川県青少年指導員連絡協議会を置く。

附 則

1 この要領は、平成23年4月1日から施行する。

2 この要領の施行の際現に指導員として委嘱されている者は、この要領の規定にかかわらず指導員とし、その任期の終期は平成24年3月31日とする。

【参考】神奈川県青少年指導員保護育成条例（平成22年10月22日改正 平成23年4月1日施行）

（青少年指導員等）

第43条

知事は、市町村長又は市町村の教育委員会が推薦する者を、青少年指導員として委嘱することができる。

2 青少年指導員及び青少年関係団体の構成員であつて規則で定める者（以下「青少年指導員等」という。）は、他の関係者等と連携し、及び協力して、地域における活動への青少年の参加の促進その他の青少年の健全な育成に資する取組を行うものとする。

座間市青少年指導員に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、地域における青少年の自発的活動及び愛護活動を推進するために座間市青少年指導員（以下「指導員」という。）を置き、青少年の健全育成を図ることを目的とする。

(活動)

第2条 指導員は、地域における青少年（おおむね小学校就学時から20歳までの者をいう。）の育成及び愛護活動並びに青少年施設等の活用を図るものとし、次に掲げる活動を行う。

- (1) 青少年団体の指導育成及び組織化
- (2) 文化及びレクリエーション活動の推進
- (3) 青少年育成組織の強化と地域活動の推進
- (4) 環境の整備及び浄化活動
- (5) 青少年に関する相談と愛護活動

(謝礼金)

第3条 市長は、指導員に謝礼金を支払うことができる。

(定数等)

第4条 指導員の定数は、50人以内とする。

2 市長は、次に掲げる団体等のうちから青少年に対し深い理解と愛情をもって健全な育成に努力している者を指導員とする。

- (1) 自治会
- (2) 子ども会育成会
- (3) 小学校・中学校のPTA
- (4) その他適当と思われる機関及び団体

(実施細目)

第5条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

座間市青少年指導員協議会規約

(名称及び事務局)

第1条 本協議会は、座間市青少年指導員協議会と称し、事務局を座間市子ども未来部青少年課に置く。

(目的)

第2条 本協議会は、青少年指導員の連絡提携により指導力の充実を図り、地域における青少年健全育成活動を主体的に推進することを目的とする。

(構成)

第3条 本協議会は、座間市青少年指導員（以下「指導員」という。）をもって構成する。

(活動)

第4条 本協議会は、第2条の目的を達成するため次の活動を行う。

- (1) 青少年健全育成活動の実施
- (2) 青少年指導に必要な研修会の開催
- (3) 指導員相互の連絡及び情報交換
- (4) 関係機関並びに諸団体との連絡調整
- (5) その他目的達成に必要な活動

(役員)

第5条 本協議会に次の役員を置き、その任期は指導員の任期中とする。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 2 名
- (3) 地区幹事 6 名
- (4) 専門部長 3 名
- (5) 事務局長 1 名
- (6) 会 計 1 名

2 上記役員の外に、監査2名を置く。

(役員職務)

第6条 役員職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、協議会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- (3) 地区幹事は、地区を代表し、会務について審議する。
- (4) 専門部長は、専門部を代表し、会務について審議する。
- (5) 事務局長は、協議会の総括事務を行う。
- (6) 会計は、この会の会計を掌握する。
- (7) 監査は、この会の会計を監査する。

(役員を選出)

第7条 本協議会会長、副会長並びに専門部長については、選考委員会が全員の中から推薦し、全体会で選出する。

2 地区幹事は、各中学校区（以下「各地区」という。）の指導員の互選による。

3 事務局長は、会長が指名する。

4 地区幹事が、会長、副会長、専門部長又は事務局長として選出された場合は、すみやかに後任の地区幹事を補充するものとする。

5 会計は、指導員の互選による。

6 監査は、役員会の推薦による。

(選考委員会)

第8条 本協議会に、役員選出のため選考委員会を置く。

2 選考委員会の委員は、各地区の指導員の互選とし、各地区ごとに1名選出する。

(協議会の会議)

第9条 本協議会の会議は、全体会、役員会及び三役会とし、会長が召集する。

2 本協議会の会議の構成員は次のとおりとする。

(1) 全体会 指導員全員

(2) 役員会 第5条第1項に定める役員

(3) 三役会 会長、副会長、事務局長

(専門部)

第10条 本協議会の活動を推進するため専門部を置き、指導員はそれぞれ、いずれかの専門部に属するものとする。

2 専門部は、文化活動部、野外活動部及びきずな編集部とする。

3 専門部の会議は、専門部長が召集し、専門部で必要な事項を定める。

(地区協議会)

第11条 本協議会の活動を円滑に推進するため、各地区ごとに地区協議会を置く。

2 地区協議会の会議は、地区幹事が召集し、地区協議会で必要な事項を定める。

(規約の改廃)

第12条 この規約の改廃は、全体会において行う。

(会計)

第13条 本協議会の経費は、委託金、その他の収入をもって充てる。

2 本協議会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(その他)

第14条 この規約に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、役員会が決定する。

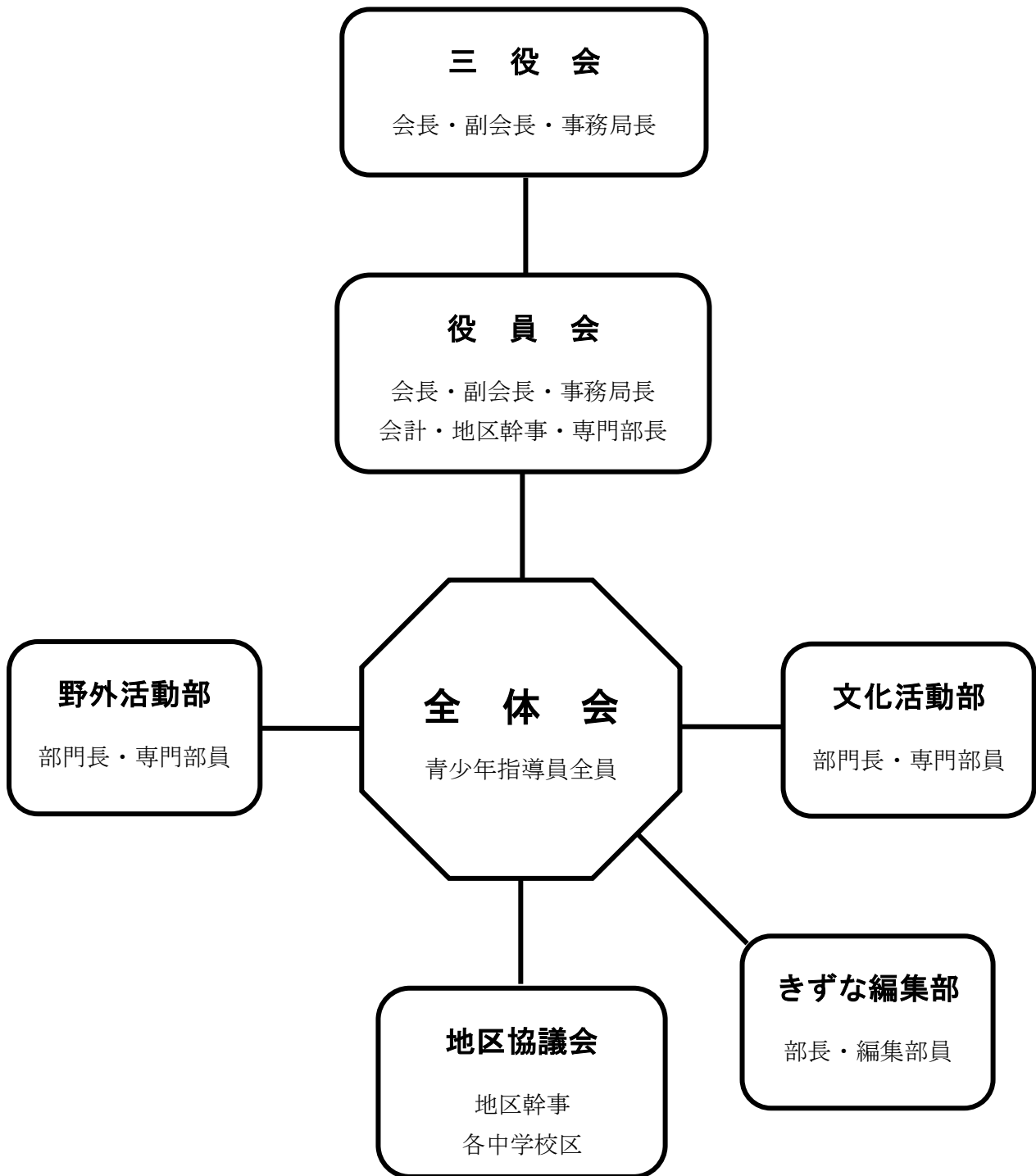
附 則

この規約は、平成5年4月1日から施行する。

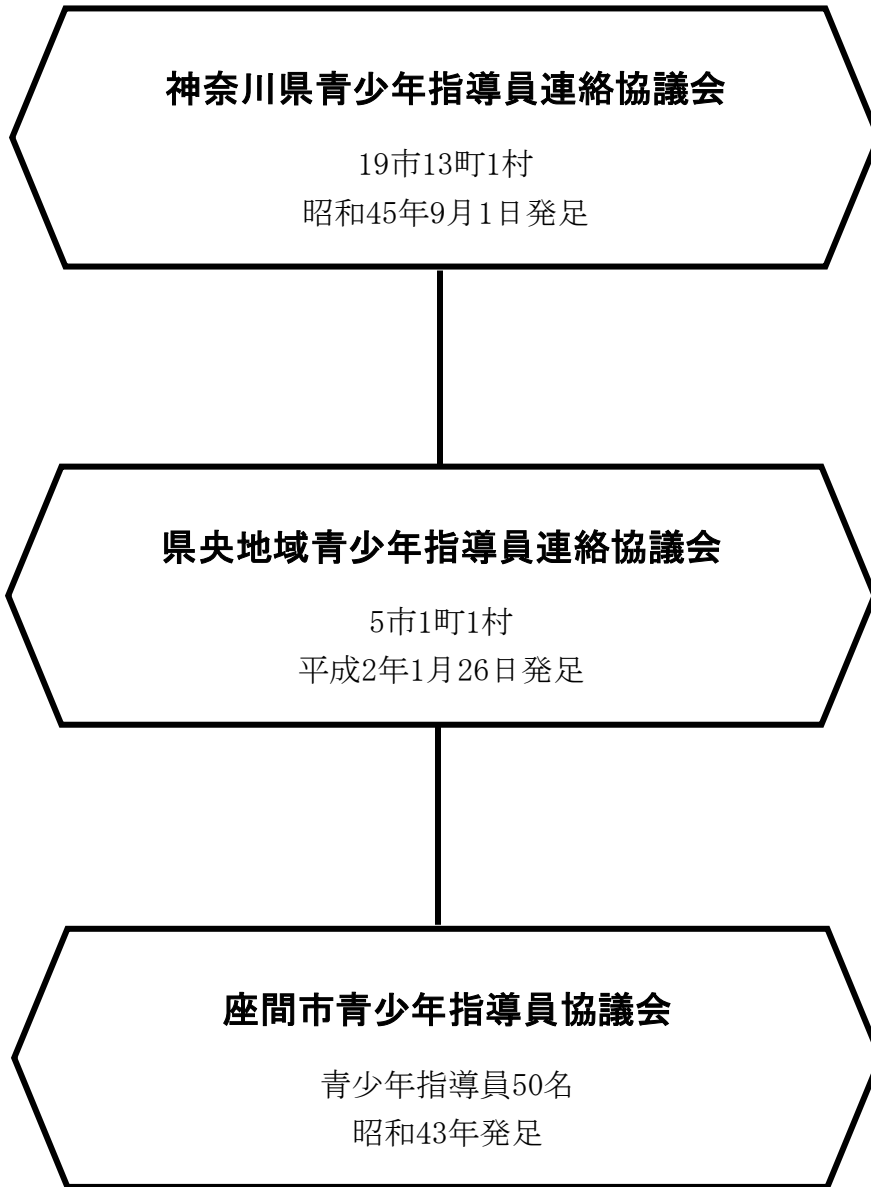
この規約は、平成16年4月1日から施行する。

この規約は、平成28年4月1日から施行する。

青少年指導員協議会組織図



県・県央地区青少年指導員連絡協議会体系図



教育・文化・スポーツ施設一覧

★教育・文化施設

施設名	住所	電話番号
青少年センター	立野台 1-1-4	046(253)8411
ハーモニーホール座間（市民文化会館）	緑ヶ丘 1-1-2	046(255)1100
図書館	入谷東 1-3-1	046(255)1211
市公民館	入谷西 2-53-34	046(255)3131
北地区文化センター	相模が丘 5-30-4	042(747)3361
東地区文化センター	東原 3-1-1	046(253)0781
座間市民活動サポートセンター	緑ヶ丘 1-1-1（ふれあい会館内）	046(255)0201
立野台コミュニティセンター	立野台 3-14-12	046(255)0815
新田宿・四ツ谷コミュニティセンター	四ツ谷 1026	046(257)4871
小松原コミュニティセンター	小松原 1-45-14	046(257)9640
東原コミュニティセンター	東原 4-13-13	046(255)9770
相模が丘コミュニティセンター	相模が丘 3-38-1	046(258)3000
相武台コミュニティセンター	相武台 3-20-18	046(258)3001
ひばりが丘コミュニティセンター	ひばりが丘 1-49-1	046(257)7698
栗原コミュニティセンター	栗原中央 3-29-17	046(257)7210
プラっとぎま（市民交流プラザ）	相模が丘 1-25-1 リビオタワー小田 急相模原コモンズぎま 3階	042(705)3610
県立座間谷戸山公園	入谷東 1-6-1	046(257)8388

★スポーツ施設

施設名	住所	電話番号
スカイアリーナ座間（市民体育館）	相武台 1-47-1	046(255)0077
市民球場（有料）	相模が丘 6-36-24	046(255)3002
新田宿グラウンド（有料）	新田宿 2178	046(252)2333
相模川グラウンド（無料）	相模川座架依橋上流	
相模川多目的広場（無料）	相模川座架依橋上流	
栗原遊水池スポーツ広場（無料）	栗原 1702-3	
ニュースポーツ多目的広場（無料）	四ツ谷 1044-1	
ひまわり公園テニスコート（有料）	入谷東 1-6-3	046(256)1385
栗原遊水地テニスコート（無料）	栗原 1702-3	046(256)7021
座架依橋壁打ちテニス練習場（無料）	座間 1540（座架依橋下）	
栗原遊水地バスケットゴール（無料）	栗原 1702-3	046(256)7021
立野台プール	立野台 1-1-2	046(251)5672
座間公園プール	座間 1-3671	046(251)6678
広野プール	広野台 1-37-1	046(252)0077
東原プール	東原 3-3-14	046(251)5044
ひばりが丘プール	ひばりが丘 4-4-3	046(255)5087
相武台プール	相武台 4-2-13	046(255)5086
栗原プール	栗原中央 6-5-25	046(254)5351
相模が丘プール	相模が丘 2-1-9	046(256)2285
入谷プール	入谷西 5-43-1	046(256)2325
旭プール	ひばりが丘 5-28-5	046(256)5508
中原プール	西栗原 2-14-1	046(251)6027



〔大 矢〕 新型コロナウイルス発生により、指導員の活動は思うように出来ず、活動報告の掲載記事に苦勞しました。ですが、各地区のきずな部員の協力により予定通り発刊できたことに感謝いたします。2年間ご協力ありがとうございました。

〔佐久間〕 今期はきずな担当を任されたことで、どんな記事を書きようか、どんな活動ができるかなど思いながら過ごしてきました。これまで、皆さんと一緒に和気あいあいした状況や活動の中から思い浮かべながら行ってきましたが、コロナ禍の終息が見えず活動の自粛や中止、学区内指導員の方々と交流もメールで済むような状況で役割を果たすことの難しさを痛感した2年間でした。そんな中、学校に貢献できるなど考え、敷地内の畑を借りてちょっと時季外れではあったがひまわりを植えてみました。体育祭の時期に咲かせ皆さんの癒しの場となればと行動しました。また、畑には、青少健まつりには欠かせない豚汁の野菜である里芋・長ネギ・大根を栽培して提供したいと思っていました、開催できなかったことで記事はできなかった。こんな状況で、子ども達と一緒に活動や交流がなかったことは残念でしたが、来期は皆さんと一緒に知恵を出し合って活動し各学区指導員と協力し、魅力ある活動ときずなの発行ができればと思っています。

〔山 城〕 きずなの編集部員になり、編集会議でいろいろなことを教えていただきながら、ついていだけで必死の2年間でした。記事を考えることも大変でしたが、貴重で為になる良い経験をさせていただきました。ご協力ご支援いただきました皆様に深く感謝いたします。

[山 田] コロナ禍の影響で指導員の活動がままならぬ中、「きずな」の紙面を埋めるのはなかなか大変でしたが、大矢部長の下、とても良い「きずな」ができたと思います。新市長へのインタビュー記事では、中学生から質問をいただいたので、中学生のみんな、読んでくれたかなあ。
大矢部長はじめ、部員、事務局のみなさん、2年間ありがとうございました。

[平 野] 今期のきずな編集部は、主要活動が全て変更や中止となり記事にすべき内容を決めることがとても難しかった2年間だったと思います。各中学校区の熱心で、的確な編集会議はいつも感心するばかりでした。これからもきずなを一人でも多くの方に目を通していただき青少年指導員の活動を知っていただけるように努めていきたいです。

[吉 澤] きずな編集部の最後の仕事がこの通称「まとめ誌」の原稿作成。今期は丸ごとコロナ禍だったが編集部はほぼ平常運転。私は前期まで編集部長を任されていたが、今期も続投していたら「きずな」発行中止を選択していたかもしれない。コロナに屈することなく「きずな」発行を決断した大矢編集部長に敬意を表します。



座間市は令和3年11月で市制施行50周年を迎えました



編集委員長 大矢弘

編集委員 佐久間頼夫 山城千穂 山田映子 平野敦子 吉澤雅規



座間市ホームページ
内でPDFデータを
公開しています。

(<https://www.city.zama.kanagawa.jp/>)

令和2・3年度（第27期）
座間市青少年指導員活動のあゆみ

発行日	令和4年3月31日
発行	座間市
編集	座間市青少年指導員協議会
印刷	座間市

